



オリンピック・ムーブメントの普及・啓発活動の一環として、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）が実施している「JOCオリンピック教室」を、JOCパートナー都市である横浜市の市立中学校で開催します。ぜひ、取材をお願いします。

●オリンピック教室とは…

オリンピックが教師役となり、オリンピック自身のさまざまな経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値がオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことのできるものであることを学習する授業です。

<主催> JOC <後援> スポーツ庁 <協力> 公益財団法人JKA、横浜市

1 場所・日時

横浜市立横浜吉田中学校（中区羽衣町3-84）

(1) 令和元年5月27日（月）11:00～15:25

(2) 令和元年5月28日（火）11:00～15:25

※詳細は裏面「4 スケジュール」をご参照ください。

2 対象

横浜市立横浜吉田中学校2年生（4クラス 計145人）

3 講師



<スケート/ショートトラック>

てしがわら いくえ
勅使川原 郁恵 氏

1998年 長野大会

500m 6位

1000m 5位

3000m リレー 4位

2002年 ソルトレークシティー大会

1000m 17位

3000m リレー 4位

2006年 トリノ大会

1500m 17位



<ボブスレー>

ながおか ちさと
長岡 千里 氏

2006年 トリノ大会

2人乗り 15位

4 スケジュール ※1クラスごとに連続2コマ（運動 50分+座学 50分）の授業です。

(1) 5月27日（月）

講師	時限	開始時刻	終了時刻	実施時間	クラス	実施内容（場所）
勅使川原 郁恵 氏	3時限	11:00	11:50	50分	2年1組	運動（体育館）
	4時限	12:00	12:50	50分		座学（クラス教室）
	5時限	13:35	14:25	50分	2年2組	運動（体育館）
	6時限	14:35	15:25	50分		座学（クラス教室）

(2) 5月28日（火）

講師	時限	開始時刻	終了時刻	実施時間	クラス	実施内容（場所）
長岡 千里 氏	3時限	11:00	11:50	50分	2年3組	運動（体育館）
	4時限	12:00	12:50	50分		座学（クラス教室）
	5時限	13:35	14:25	50分	2年4組	運動（体育館）
	6時限	14:35	15:25	50分		座学（クラス教室）

5 その他

- (1) 「JOCオリンピック教室」の詳細は、JOC提供の資料（別紙1）をご参照ください。
- (2) JOCでは、オリンピック・ムーブメントの推進を目的に、自治体とJOCパートナー都市協定を締結しており、横浜市は平成20年3月に締結しました。

取材を希望される方は、**別紙2により5月24日(金)正午までにFAX**でお知らせください。

- ・運動の時間は、授業に支障のない範囲であれば自由に取材していただいて構いません。但し、オリンピックと生徒の間を移動することはご遠慮ください。
- ・座学の時間は、生徒やオリンピックが授業に集中できる環境を保つため、動画撮影を希望される場合は、教室後方出入口付近から授業冒頭のみ撮影可能です。
- ・フラッシュの使用はご遠慮ください。
- ・当日は腕章をご着用ください。

※その他、ご要望がある場合は事前にご相談ください。

お問合せ先
市民局オリンピック・パラリンピック推進課 担当課長 田中 礼子 Tel 045-671-4585



オリンピック教室

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピアン自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピアンだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名称** : JOCオリンピック教室
- 主催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後援** : スポーツ庁
- 協力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象** : 中学2年生
- 講師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピアンはJOC側にて選定
- 期間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業
- 参考** : <https://www.joc.or.jp/event/class.html>

1時限目
運動の時間（50分）



2時限目
座学の時間（50分）



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

オリンピック教室 授業構成

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

授業実施風景（運動の時間）

①あいさつ → 学習内容の確認



②準備体操1



③準備体操2



④主運動の説明



⑤主運動1



⑥作戦タイム



⑦主運動2



⑧授業のまとめ → あいさつ



授業実施風景（座学の時間）

①あいさつ → 学習内容の確認



②オリンピックの自己紹介



③オリンピック自身の経験に基づきオリンピックの価値等を伝える → 生徒への発問



④グループワーク



⑤グループワーク発表



⑥授業のまとめ → あいさつ



⑦記念撮影



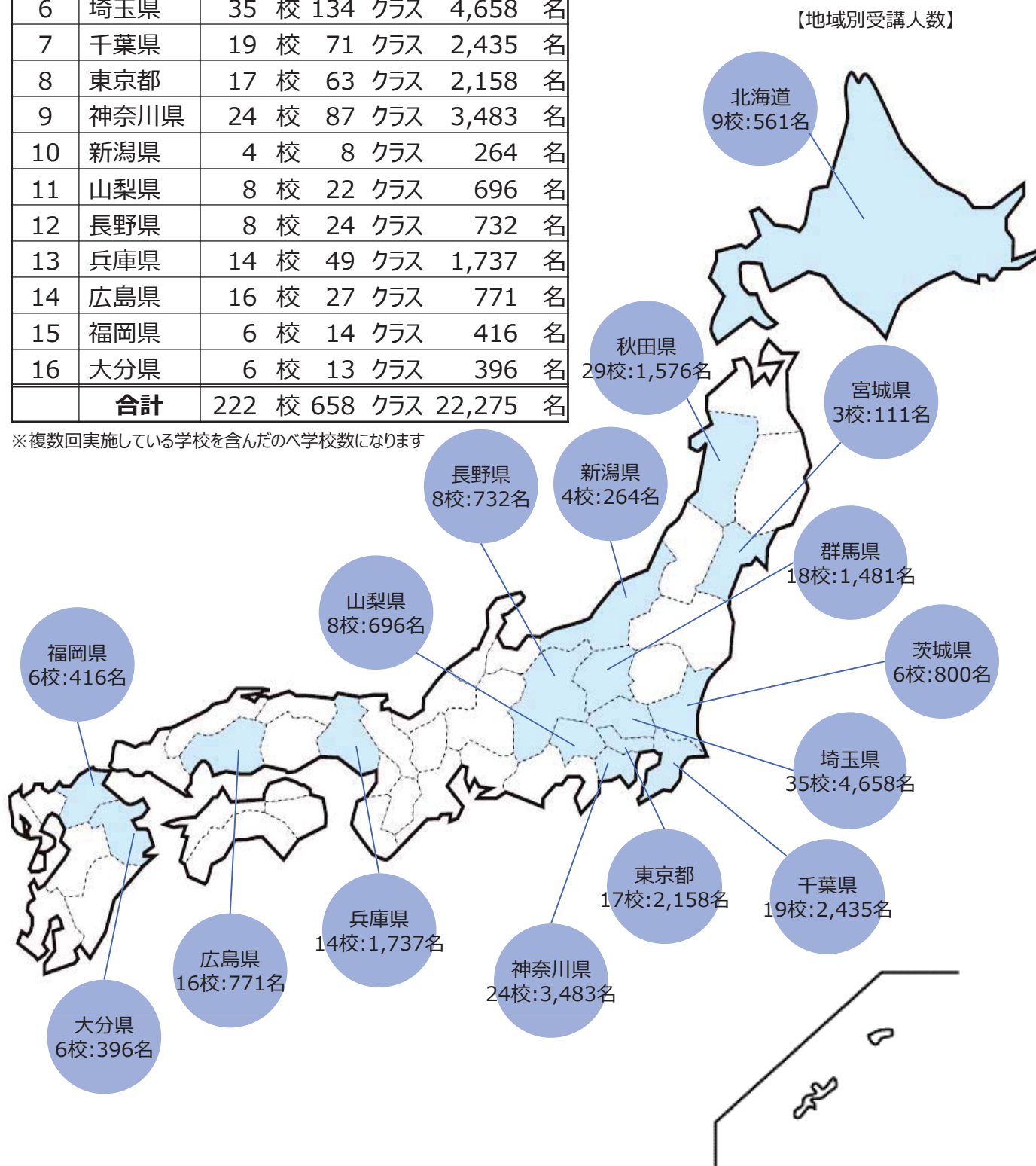
過去実施エリア

※平成31年3月現在

【平成23年度-平成30年度 実施学校数/クラス数】

	都道府県	学校数/クラス数/人数		
1	北海道	9 校	17 クラス	561 名
2	宮城県	3 校	3 クラス	111 名
3	秋田県	29 校	56 クラス	1,576 名
4	茨城県	6 校	23 クラス	800 名
5	群馬県	18 校	47 クラス	1,481 名
6	埼玉県	35 校	134 クラス	4,658 名
7	千葉県	19 校	71 クラス	2,435 名
8	東京都	17 校	63 クラス	2,158 名
9	神奈川県	24 校	87 クラス	3,483 名
10	新潟県	4 校	8 クラス	264 名
11	山梨県	8 校	22 クラス	696 名
12	長野県	8 校	24 クラス	732 名
13	兵庫県	14 校	49 クラス	1,737 名
14	広島県	16 校	27 クラス	771 名
15	福岡県	6 校	14 クラス	416 名
16	大分県	6 校	13 クラス	396 名
	合計	222 校	658 クラス	22,275 名

※複数回実施している学校を含んだのべ学校数になります



「JOCオリンピック教室」 取材申込書

- 下欄にご記入のうえ、本票を 横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課担当者宛てにご返信ください。

【返信先】 FAX : 045-664-1588

<締切>

令和元年5月24日（金）正午

市民局オリンピック・パラリンピック推進課 三浦・城 宛

所属（社名）		
来られる方全員の人数		人
内訳 （※）	カメラクルー	（スチール 台/ ムービー 台） 人
	記者	人
	技術	人
連絡先	ご担当者氏名	
	緊急連絡先	

（※）内訳が未定の場合は空欄で構いません。